

# 平成30年第1回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

## I 被災者の生活の回復に関する実感

生活の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	一部地域を除き進んでいる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	まだ一部の人が仮設住宅に住んでいるが、織笠地区は、高台移転・災害公営住宅入居の人が普通の生活を送れるようになったと思う。宮古～山田間の復興道路が開通し、かなり便利になった。山田町民は大変喜んでいと思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	仮設住宅が取り壊され、入居している方が居なくなってきている。それぞれに状況が落ち着かれたように思われる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	不便を感じる事がなくなった。笑顔が良く見られると思う。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	仮設住宅が少なくなっている。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	女	住宅の再建は終わっている。落ち着いて仕事に励んでいる。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	高台の住宅整備がだいぶ進んだ。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	39歳以下	男	小学校の校庭にあった仮設住宅の撤去が終わり、地域にある仮設住宅に住む被災者もごくわずかとなった。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	住宅も出来て、仕事をしている。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	自分の周囲では、被災はしたが皆がんばり、回復したように感じる。あくまでも、自分の身近にはあるが。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	現在では、台風で被災された方が仮設住宅に入居されているが、震災で入居されていた方はすべて新しい住居に移ることが出来ている様子。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	現在自分の住んでいる町が、高台の造成が出来つつあり住宅も建ちはじめた。高台に自分の家も土地が決まり、来年には建設する予定である。それと、高田町のかさ上げ地の商店もどんどん建設されている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	このところ宅地区割等が決定し、それからは急ピッチで住宅が建ってきている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	町の中心市街地山田地区に、近代的な県営アパート・町営アパートが完成となり、一昨年11・12月にかけて、転居者が増えたことは喜ばしい。しかし、中心地の高台等を含めた移転地の宅地造成が決まり、今、緒に就いたばかりである。2019年度までに持ち越しとなった。前回も同じことを記したが、仮設住宅世帯の中には後期高齢者が多く、再建した住居に早く入れることを夢見ながら、世界された方も多し。また、8年目の春を迎え、長引く狭い仮設住宅で精神的障害に悩まされて通院されている方もいる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	仮設住宅から災害公営住宅への移転も進み、住環境は改善された。現在仮設住宅には、高台移転希望者が残っている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	復興需要で建設業等の雇用が促進していたが、工事等が完了してきて発注が少なくなっている。現在は雇用が細る傾向にある。漁業ではサケ、サンマ、ウニ、アワビ、ホタテ(死滅)が不漁で、第一次産業での所得減や、水産加工等の業績不振が顕著で雇用の不安材料となりつつある。以上の理由から、家を建てるのに借金をした方々のローンの返済や、生活資金への不安が生じてきている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	仮設住宅の在居状態は3割を切っており、自立建設や公営住宅への移住が進んでいる。これからは新居地域でのコミュニケーションの在り方が問題になって来ると思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	公営住宅等に入居された方が増えた。松原、平田地区の建築(自宅再建)件数が増加している。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	仮設住宅在住が8世帯になり、自立自宅再建や災害公営住宅への移転が進んだ。ただ残る人の中には、自宅再建の順番待ちや、災害公営住宅がまだ着工していない方もいる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	皆さんの表情が明るく、穏やかに感じられる。スーパーでの買い物、また日常の生活も、普通に戻った感じがする。それぞれの頑張りや住居、店舗等を経て、落ち着きを取り戻した方もいる。反面、高上げが終わらず、引き渡しを待って、いまだ仮設住宅に残っている方もいる。でも、この方達は行き先が決まっているので、気持的には落ち着いている。また、公営に入るか自立するか、いまだ決めかねている方も少なくない様に見られる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	高台移転、住宅再建が進んでいると感じる。仮設住宅から出られる人が多いのがその理由。公営住宅も完成されて来たので、日常の生活に戻りつつあると感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	住宅再建等だけ見れば、生活再建は進んでいるように見えるが、個々で見ると進んでいないところもある。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	仮設住宅の入居者が確実に減っている。仮設住宅の解体が始まった。最近になって「自分だけ取り残されている」と強く思い込むようになってきた。この仮設住宅は、来年3月末までに退去しなければならないので、今すぐ方針(移転先、再建方法等)を固めなければならないが、先立つものが……。災害公営住宅の入居も考えたが、収入によって10万円以上の高額家賃になるという話を聞き、怖くなって選択肢から外した。気のせいかもしれないが、人がいないためか今年は仮設住宅内部がいつも以上にかなり寒く感じるが、なんだかんだ言っても、ここ(仮設住宅)に一生暮らせばありがたかった。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	高台移転も進み、新居へ多く移り住む人達が増えた。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	商業施設は割と回復しているようだが、住宅の方はもう少し。自家用車が無くてもというところまでいければ。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	高台に住宅が建ち、小中学校の仮設も撤去され、少しずつだが回復していると思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	仮設住宅の撤去も進み住居としての回復は進んでいるように見えるが、新たなコミュニティ形成という点では、まだまだのように感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	道路工事や高台移転もだいぶ進んでおり、同時に仮設の解体工事も始まっていることより、回復はだいぶ進んでいると感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	宅地の引渡しが始まり、戸建住宅が建ち始めた。やっと再建が始まったと思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	町では、公共施設が完成に向かって工事が進んでいる。一戸建てが増えることで、町が出来てくることが実感される。町民の気持ちは嬉しいと思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	仮設住宅から、再建し出ていく人が増えた。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	有効求人倍率も高く、売り手市場が続いている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	復興道路の工事や防潮堤の工事は進んでいる。住宅の再建も完了し、落ち着いた生活を送っているように思える。岩泉町は台風10号の被害が大きく、震災の時のようなサポートが必要だと思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	私の住む高台住宅団地の住宅再建は、9割近く進んでおり、表面的には進んでいるように思える。平穏(平和)な生活を感じる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	私の住んでいる地域の防集移転地に、建設中も含め20件が建ったが、まだ仮設住宅で暮らしている人がいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	道路、防潮堤等の工事が進んで来ている。鉄道が回復した。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	勤務する大船渡駅周辺は、土地・道路の嵩上げ工事が行われており、着実に復興が進んでいる印象を受ける。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	一部遅れはあるものの、区画整備等進んでいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	中心市街地の嵩上・区画整理は終了。店舗、住宅の再建が進んでいる。いまだ仮設住宅に住居している方が多数いる。自力再建を計画しているものの、建築業者の仕事が立込んでおり遅れている方、費用負担が少ない仮設に住み続けたいと考えている方、公営住宅家賃負担が不安で迷っている方等、様々な事情があるようである。公共インフラはほぼ回復、利用頻度がどの程度となるか不明だが、鉄道の復旧が待たれる。「生活」という観点からは、元々利便性が高い地域ではないので、飲食店の営業環境を除き、震災前の水準に回復したと考える。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	仮設住宅の空きが多くなり、高台の移転が進んでいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	災害公営住宅に移り住んだ人が多くなったが、まだ、仮設に住んでいる人がいる。学校の仮設住宅が来年から取り壊し予定で、校庭が復活する。盛土地に商店が増えてきた。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	高台移転の最終と思われる住宅建築が進んでいる。住宅再建に伴い、新たなコミュニケーションについての取組が進んでいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	町の造成も終り一気に住宅再建が進み震災前の町に戻るのはまだまだだが、みなさん自宅の再建を楽しみに毎日がんばっている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	高田町の人や気仙町の人たちは、これから家の建設が始まるまでは仮設住宅に住んでいても仕方ないと思うが、それ以外の地区の人たちは早く自立してほしい。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	野田村前浜地区の防潮堤、防潮林の植栽が行われている。久慈・普代間の復興道路工事が各地で行われている。宇部川地区ほ場整備事業も、平成29年度には全域で耕作が行われた。現在、暗渠排水工と保管工事が進んでいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	漁業をとりまく環境が、サケやアワビの不漁などどんどん悪化しているような気がする。人手不足も深刻になっている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	住居のかさ上げ移設工事が、間もなく完了する。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	女	表面的にはある程度回復したように見えるが、内面的なことがそれに追いついていない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	女	就職活動も自分の希望条件を重視して仕事を決められるようになった。以前のようにとにかく収入を得るためにどんな仕事でもというように自分の希望など言っていられない感じはなくなってきた。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	近隣市町村を含め、道路工事が進み、便利になっていく反面、人の流れが変わり、それに対応していけるのか(特に商業関係)の不安もある。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	男	復興住宅(アパート)はどんどん建てはいるが、仮設住宅(平屋)もまだ残っている。生活状況は、大分回復していると思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	沢山の新しい家が建設されてきている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	仮設住宅の撤去も始まり、区画整理した場所での個々の住宅再建も見られる様になった。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	生活全体を通して、回復し安定している状態に見受けられる。ただ、精神的に安定さを欠いている人、場面がまだ無くなったわけではなく、今後もケアは必要になってくると思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	少しずつではあるが、仮設住宅の撤去が進んでいる。新築中の家が多くなってきた。朝晩の交通渋滞が緩和されてきた。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	近くの仮設住宅の住居者もほほいなくなった(まだの方もいるようだが)。高台、災害公営住宅の状況も、日々進んでいるように見える。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	盛土も終了し、家も再建され始めた。町に活気も取り戻し始めているように感じる。一方、仮設住宅はまだなくならず、あと少しのところだと思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	仮設住宅に住んでいる方がまだいるので、早く落ち着いた生活をしてほしいと思う。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	現在、仮設住宅に入居されている方がまだいる。全員が住居を建設できることを望む。校庭の建設。どの学校においても、自分の学校の校庭で思いっきり遊べるようになると良い。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	鉄道などのインフラ整備が進んでいるため。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	復興公営住宅への引っ越しが進み、生活が軌道に乗ってきた感じがある。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	すでに住宅再建をしている人たちは、生活が安定し大きな変化はないように感じる。被災した地域では、土地の嵩上げが終わり、新しい住宅が次々と建ち始めている。見た目は回復が進んでいるが、心の回復はどうなのだろうか。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	仮設住宅が学校から無くなる話を聞いている。それに伴い、自宅の再建に向けて話が進んでいる話をよく聞く。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	39歳以下	男	仮設住宅の在居状態は3割を切っており、自立建設や公営住宅への移住が進んでいる。これからは新居地域でのコミュニケーションの在り方が問題になって来ると思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	住宅再建が進み、仮設住宅利用者が少なくなってきた。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	まだ完全とは言えないかもしれないが、着実に回復していると思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	被災により、別市町村にアパートを借りていた知り合いが、このたび、家を立てることが決まった。勤務地にある中学校の校庭が、震災後仮設住宅用地であったのが、震災前同様に使えるようになった。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	前回調査時と同様の回答となるが、国道281号線の改修や駅前整備事業の着手など、周辺の生活環境の改善は進んでいる。ただでさえ経済力が弱い地域に、昨年の台風被害の追い打ちもあり、将来の展望が描ききれないでいる。住民の高齢化と地域の雇用条件が他地域に比較して低いため、若年層の他地域への流出が続いており、地元では慢性的な人材不足に陥っている。生活水準が以前まで回復したかは疑問がある。若年層が地元へ定着するための政策が急務と思われる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	仮設に残っている方が少なくなってきた。まだ、宅地が引き渡しにならない地区、公営住宅が完成していない地区もあるが、町内全域で見れば、半数以上が新居で暮らせるようになった。しかし、災害公営は、数年後には家賃の軽減が無くなるので、年金暮らしの方は大変である。私自身は1ヶ月程前に新居に移った。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	被災された方々の実際の所は分かり兼ねるが、全体的にはやや回復しているのではないと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	災害公営住宅団地内のコミュニティは時間をかけ念入りに自治会を良い状態で立ち上げているところが多く、それを支える支援のあり方等素晴らしいと評価している。しかしその状態を何年も維持させるのは難しそう。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	復興住宅は次々と建設されており、仮設での暮らしから抜け出せている被災者は増えていく。しかし、まだ多くの仮設住人がおり、元の生活が取り戻せていない状態の方々もいる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	当地は、数年前に震災の災害復旧について住居環境、公共施設、防災施設全てがほぼ完了したが、急激な少子高齢化に加え、一昨秋の台風被害による農業、酪農被害、そしてサケ、ウニ、アワビ等の近年にない不漁で、国補助事業により整備された漁船等の設備が有効活用されず、農林水産業全てが活気を失っている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	震災からの復興という観点では、宮古地区はだいぶ進んだ印象を受けるが、昨年の台風で二重に被害を受けた方々もあり、今後一層の回復が望まれる。また、ここ6ヶ月の進捗については、特に大きな変化は見受けられないと感じている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	女	不漁(色々)のため、生活に影響があるのではないかと。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	東日本大震災による被害を受けた地域については、三陸道の整備等復興の進捗している状況が実感出来る。一方、岩泉町は台風10号の被害が大きく、復興の進捗状況は十分とは言いきれず、今後の進捗が期待される。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	被災による影響は、ほぼ感じられない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	住宅を再建された方もいるようだが、仮設住宅から仮設住宅へ移れるなど、住環境の改善が進まない方々が多数おられる。生活の基盤である“住”が安定していかないと、生活自体の回復は進まないと思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	39歳以下	女	何力所か仮設住宅が取り壊され始めている。ずっとそこに居られるわけではないのは分かっているが、出された人もいるのかなと思ったりしてしまう。逆に仮設から出て、自分の生活がスタートしたと考えれば、良い方向に進んでいるのかななどは思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	ニュース等で知る限り、少しずつではあるが回復してきていると思う。ただ、直接的に見聞きしているわけではないので、生活の詳細については分かりかねる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	震災からすっかり立ち直った人と、影を引きずって生活に影響を及ぼしている人とが、はっきり分かれている。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	現在、仮設住宅に住んでいる方々に自分の住家の将来への見通しが立たない方々が見受けられる。特に高齢者の方々が多いようである。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	区画整理事業による宅地の造成工事がようやくここに来て進展したかに見えるが、まだまだ住宅が建ち並び「町」とするには、これから何年かかるのか懸念される。いまだに、生活道路の工事もままならず不便である。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	漁業経営をしているが、震災後これほど不漁な年はない。海の状況が変化したのか、今後が不安。
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	住宅があまり建っていない。年をとった人が多いので、住宅ローンを組めない。
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	国の思惑と被災者の思いとは現在の復興の進行状況に違いがあるように感じる。被災者の現状をどこまで把握して行われているのか、表向きの復興はいらぬ。
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	仮設住宅はすべて撤去され、それぞれ住宅再建をしたり、公営住宅に入居され、落ち着いて生活していると思う。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	周囲に被災した知人がいないため、わからない。

## II 地域経済の回復に関する実感

地域経済の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	行政からの支援により、すべての事業が軌道に乗っている。ただ、台風で大きな被害を受け、閉鎖を余儀なくされた事業所があり残念。何か支援が出来なかったか悔やまれる。(レタス工場)
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	水産業、農業は被災前と同じように回復したと思う。今年度はサケ、ホタテ等不漁だったが、1年後の2019年リアス線(宮古～釜石)が開通すると、地域経済が活性化すると思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	漁業を営む皆さんは震災を乗り越え、家族皆で、組合全体で、力強く取り組んで頑張っている。不漁もあるにせよ、津波には負けたくない意地がここまでやり通して来た。「一生懸命やればそれだけの見返りがある」。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	39歳以下	男	水産業の人口は減ったが、年齢的なこともあって仕方ないと思う。次は担い手をどう増やすか。私の村の水産業は、震災前のサイクルに戻った。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	農林水産業(水田、畑)等回復は以前と同じ。基盤整備も良好と思う。大型店舗が建築され、企業等は以前と同様と思われる。(コンビニエンスストアは増えた)
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	復興事業で入ってきた人に救われていると感じる。復興事業が終了した後の経済が心配。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	平成29年11月の大船渡の有効求人倍率が、1.73倍と人手不足となっている。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	39歳以下	男	水産業は回復したと思う。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	サケ、イカ、タラが不漁だが、頑張って操業している。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	釜石市街地における店の再建が進められており、市民会館(TETTO)も完成して、街のコミュニティの活性化が図られそうである。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	仮設店舗で営業しているところもあるが、近いうちに再建されたところへ移動するようである。水産業もだいぶ回復してきているように思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	水産業(養殖漁業)は震災後、国から頑張る養殖漁業者向けの支援を取り入れた。その支援事業の5年間は終了。しかしながら、5年の内の水揚げ業績が震災前の基準に戻らず、赤字補填に支援期間後も充当しなければならない状況になり、漁家にとっては、決して楽な状態にはなっていない。魚価の単価は高い水準になっているが、生産量の減少が原因になっている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	基幹魚種であるサケ、スルメイカ漁等が不振で、さらにサンマ漁も今期は不振であった。魚価高は磯漁や浅海養殖業者の収入を増やしている。「オール商店街」の完成は周辺の商圏域の活性化に繋がっている。また昨年は、金融団も中央に新店舗を構え、活気が出てきたようである。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	人口の流出などで、経済の方はいまいちと思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	商業施設は増えてきて、賑わいは出てきているが、大型店舗に偏るのは仕方がないのかもかもしれない。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	仮設商店街にあった店舗も徐々にではあるが、元居た場所でまたお店を開くという希望を叶え始めている。その中で、金銭的な事情等があり、そのまま店を閉めている所も多々ある。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	被災前と同じくらいには、働ける場が増えたような気がする。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	仮設店舗から本店舗に移る方が増えたようだ。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	大船渡市中心部は、嵩上げ工事の進捗に合わせ建物の建設も行われている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	仮設からの本設移転等進展が見られる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	養殖漁業はだいぶ回復したと思う。加工、販売が追いついてきていない。地域経済は、発展途上である。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	後継者の不足。農地がまだ震災前のような地力が戻っていない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	各地で復興工事が行われ、雇用状況が安定している。私達の地域では出稼労働者が70才代になり、仕事を辞めて来た人達も復興の仕事に従事している。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	なにか漁業の先が見えづらくなって来ているような感じがする。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	1次産業のハード面については、被災前と比較してやや回復しているものと思う。一方で、需要の減少、人口の減少、人材確保・育成、販路の確保等、様々な課題が山積みされており、行政・金融の連携が必要不可欠と感じている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	男	相変わらず、地元企業の求人は多い。道路は半分回復されたと思うが、周りの嵩上げ部分の状況はまだまだという感じの地域が多いように思う(釜石、大槌地区は特に)。商業施設は、結構増えたように思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	順調に回復していると思う。ただし、回復に伴って、震災により高騰した価格や料金がいまだに高いままである。高い料金を取ることで、経済が回復したということではできないのではないかと。また、漁業における不漁が大変気になる。原因が震災によるものであるとすれば、回復は進んでいないと思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	魅力的なイベントの開催、商業施設の充実等がみられ、経済の回復につながっていると感じている。道路、鉄道の整備も進んでいるように見える。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	仮設の店舗から、本店舗に移り営業を始めているようだが、店内が狭いために品数が少ないところもあった。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	徐々に復興回復していると思うが、農業、漁業等、後継者の問題等があると思われる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	被災前と比べて、規模は小さいながらも店舗も再建され、回復している感じがする。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	人口減少が、地域経済の回復に影響があると思う。回復とはどの程度までを望めばいいのだろうか。農林水産業の再生・回復が、地域経済の活性化につながるようになることを願いたい。様々な面の地域格差が大きくならないように。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	39歳以下	男	農林水産業について考えてみたところ、その回復の程度はなかなか見えにくいと感じた。施設や設備は整ったように見えるが、不漁の影響などもあるのだろうか。企業や店舗で再開をあきらめたり、再開した後の状況はどのようになっているのだろうか。もし、そのような情報に触れる方法があれば知りたい。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	被災地域にも活気が出てきており、それに伴い経済も回復傾向が見られるようになってきた様子がある。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	土木業界の様子を見てみると、忙しさを感じるので回復はしているものと思う。ただし、将来的に続く忙しさではないと思うので、持続可能な何かを今のうちに見つけなければならぬと思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	震災前と後という点、震災からの復興という点で考えれば、回復しているのだと思う。しかし、震災がなかったとしても地域経済の活性化については、市民皆で考えていかなければならない問題であるとする。震災があったから、今年の台風被害があったからという視点ではなく、新たな視点で地域経済をどのようにしていくかを考えていかなければならないのではないか。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	八木地区の水産関連施設が建て直されていたのを見かけた。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	就業者が増加したとは思えない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	宮古山田間の自動車道が開通し、大変便利になった。地域経済の回復には、寄与するものと思われる。基幹産業であるサケ・スルメイカ・アワビ等の不漁が心配。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	コンビニエンスストアは増えたが、お客さんの入りはあまり多くない。スーパーでの買い物は、野菜他は小分けで買い求める人が目立つ。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	店の開店やイベントがある時は町中には集まり賑やかになるが、私自身バスでの移動になるので、1ヶ所での買い物便利になり、大型ショッピングセンターに行くことがほとんどである。車窓から街中を歩く人をあまり見かけない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	このところ海の漁が不調であるが、再建した事業所、しつつある事業所が目につくようになってきた。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	地域経済を見ると、仮設で営業していた頃は活気があった一部の業種でも、本設での営業にシフトしてからは陰りが見られるようになってきた。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	経済活動の活発化への意欲が住民から感じられるにもかかわらず、具体的な動きに直結していないことが多い。水産業においてはサンマ・サケの不漁による将来的不安が増すばかり。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	大型商業施設ができたが、その他はまだと感じる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	国は景気が良い話をするが、この辺だけを見ると、土木建設業だけが景気が良いような気がする。地場産業である水産業は、悪くなっているような気がする。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	水産業ベースの地区なので、魚介類が獲れなかった今年は水河期となった(地元で商売している人は特に)。増え人口が減ったような気がする。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	新市街地に移転する店舗も増えてきて、新しく再建した店舗は忙しく仕事をしているようだが、まだ移転できず、仮設店舗で営業しているお店は、顧客の減少で厳しいところも見られる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	まだ、復興景気が少し残っていると思う。道路工事等が終わった時の経済状況を危惧する声もあがってきているが、何の対策もないことに不安を感じる。農林水産業の面では、魚の獲れない状況が続いているのは心配である。基盤整備については、魚市場の拡大など出来ていると思うが、それに合う大漁を願う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	仮設商店から、本設の店舗を構える人が増えてきている。このまま、新しい商店街に賑わいが来ることを希望したい。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	非常に難しい所だが、地域的に以前の様な回復はしていないと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	建設や土木で多くの作業員やダンプ車で交通量も多く活気づいているように思うが、この工事が終了した後はどのような経済状況になるのか、正直わからない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	新しい会社が進出し、経済が回復しているように感じるが元々の会社がどうなっているのかわからないので回復しているのかどちらとも言えない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	人口減少の中で、経済の回復は難しい。大手企業の参入など、起爆剤がなければ難しい。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	産直施設がオープンするなど、新たな雇用の生まれ良いことだが、施設の運営やPRなど活かしきれていないように思う。せっかく施設を建てても、採算が取れず閉店することがないような運営をしてほしい。水産業は、不漁が続く元気がない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	住宅ローンの支払いが大変で新築した住宅から引っ越した方がいるとの噂を聞いた。真偽は不明。自宅の支払いに苦しんでいる方がいるのは、事実と思う。(毎月10万円以上の支払いの方がいるのも事実)
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	行政や金融の支援は手厚いものと捉えている。人口減少をはじめとする、将来への不安と経営者の高齢化が、再建や新規事業立上の障害となっている。震災との関係は不明だが、イカやサケの不漁により、水産加工業では震災前と同じ商売が出来なくなっている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	住宅ローンを耳にするようになった。海の仕事をしている人は不安がっている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	サケ、イカ、アワビなど不漁が続いている。今後が不安になってくる。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	商店が出来てきたが、この先の見通しはわからない。人手が足りない所もある。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	若者の人口流出により、人手不足が顕著になっている。事業継続への不安と、事業拡大の取り止めも出てきている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	以前と変わらない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	震災からのサケ稚魚放流や、アワビ稚貝の放流が出来なかった影響が出て、漁獲量が減っている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	漁業者の設備(漁港、船舶、定置網、種苗センター、サケふ化場等)は、震災前の状況にまで回復している。一方で震災との因果関係は定かではないが、ウニ、アワビ、サンマ、イカといった地域の基幹漁獲種が不漁である。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	女	地域経済を回復させようにも、労働力が不足している。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	住宅の新築工事が落ち着き、その分、景気の良さも低下した感がある。求人件数は多いものの、給与水準の高い土木系に人が取られ、長期間求人募集を続けているものもあり、マッチングなどが必要と思われる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	地元の商店は見えていない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	半年前との変化が感じられない。山田宮古道路が延伸されたが、経済面への影響までは見えてきていない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	地域経済の回復については、あまり感じられていない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	前回より、進んでいる話を聞いたり見たりしていない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	漁業関係で、魚等があまり獲れないようで漁師は大変だ。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	東日本大震災による経済復興の点で見れば、三陸沿岸道路の建設が急ピッチで進められて、完成に伴い交通手段が大幅に改善され、これに伴う企業の誘致や雇用状況の改善、及び若年層の地元定着等経済的波及効果は大きいと思われる。ただし、昨年8月末の台風10号による被害状況が甚大であり、この影響で地域経済はまだまだ復興途上である。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	震災後、職を失ったまま、心に問題を抱えている人の話をよく聞く。水産資源の枯渇で、街の活気がなくなっているように思う。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	地元の商店での再生は、非常に厳しい環境下に置かれているのが現実だと感じる。(人口の減少、大型店の影響)。水産関係も震災前より水揚げ量が少なく、後継者の関係など、多くの問題を抱えていると思う。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	地域経済も活気に乏しく感じ、震災後のインフラ整備等の工事終了に伴い事業所が撤退し、交通量が減り、地元商店等の客数が減少している。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	女	平成29年度の水産業はかつてない不漁にともない全く経済は大変だった。農業も同じである。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	震災以降、地域の川にサケが上がってこないために、非常に活気がない。
分からない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	建設業は復興需要で伸びた。現在はその勢いが少しずつ低下しつつあり、今後は仕事量は減少すると見込まれ、地域経済の低下が予想される。漁業では漁船、定置網等の復旧はあったが、不漁が続く地域経済は低下している。水産加工は原料となるサケ、サンマ、イカ等の不漁で、業績が著しく悪化している。総合的には建設・建築業は、これまでは良好で地域経済を引き上げたが、今後は心配。借入金返済等が始まった水産加工業者や、漁船漁業者の経営は悪化しており、地域経済は低下していると考え。
分からない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	39歳以下	女	人口の出入りの所を見ると市の人口は減るばかりで増えていない。それを思うと経済もあまり良くないのではと思う。
分からない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	「景気が良い」とも「悪い」とも、聞く機会がなかった。

### Ⅲ 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

災害に強い安全なまちづくりの達成度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	当地では防潮堤、水門、県道の嵩上げ(二線提)工事は完了した。すでに避難所対応も備えた小学校、特養老人施設も完成している。被災した公民館(泊地域)、3つの消防屯所も高台へ再建された。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	防波堤、堤防、防災センター等防災設備が整備され、震災前に比べ格段に充実したが、少子高齢化に伴い災害時に活動できる人口が減少しており、災害時に独居老人等の弱者への対応策を十二分に検討すべきである。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	防潮堤工事も進み、もうすぐ完成すると思う。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	防潮堤の完成が間近である。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	防災設備はほぼ完成した。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	防潮堤の工事目に見えて進み、少し圧迫感があるけれど安心できる高く大きな作りになっている。お年寄りの集まる場所(デイサービスセンター等)では安全対策として避難訓練、緊急時の連絡体制をしっかりと整えている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤の延長や、高台移転が進んでいる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	前にも同様なことを述べたが、尊い命の安心安全のための、被災地防潮堤工事の全容がやや見えてきた。巨大な万里の長城を思わせるようになってきた。海の見えない防潮堤に異様さを感じる。私達は海のそばで生まれ、海に親しみ海で育ってきた。巨大防波堤により、海の自然が遠くなってきていることは事実である。いい方に向かうか、悪い方に向かうか、今後の子どもたちの生き方が、どのようになるのであろうか、予測不明である。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	織笠地区の防潮堤工事、織笠川水門工事が、急ピッチで進んでいる。完成すると、災害(津波)を防げると思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤が飛び飛び建ってきた。防潮堤の間を置かないで続けてほしい。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	陸前高田市は震災による被害規模も大きく、そのため高台移転場所の整備が非常に遅れており、住宅再建に支障をきたしている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	気仙川河口の水門や、高田松原の防潮堤などが順調に建設されている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	復興公営住宅も進み、高台も一部だが完成して個人住宅もぼちぼち建設中。それに伴い高台への道路が一直線に完成したことが良いと思う。今はそこへの入口廻りが工事中。完成を期待している。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	三陸リアス路線、それに伴う鉄橋・鉄路の整備、巨大な防潮堤や水門等の工事が槌音猛々響いており、当初の計画からは、数年もの遅れにはなったが、目に見えて進捗状況が分かるようになった。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	災害に強い、安全なまちづくりにはお金がかかると言う友がいる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	三陸道路の工事が進んで来ていること。東部地区の公営災害住宅は残り2か所になり、自宅再建も増えている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	震災後は人口の流出などで震災を経験されて辛い思いをした人達は高齢となり、若い人達は流出などではないので小さい子供達までまだ伝わりきれていない。安全なまちづくりとなると、まだまだ不足と思う。何かもう少し足りていないと思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	公営住宅を前にスーパー、各店舗、金融機関等が建ち並び、町中心部商店街が出来、日々の生活に町民は足を運んでいる。今も近辺にそれなりの店舗等が建設されている。海から離れた安全と思われる土地にも、住宅の建築がそちこちで見られる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	残念ながら、役場前の横断歩道設置は12月中には工事が始まらなかった。1.2kmに横断歩道は1ヶ所も無く、横断する際手を上げて合図をしても、車は止まらない。「横断歩道を渡りましょう」の交通安全の呼びかけがむなし。歩道にも「自転車通行可」の標識もなく、そこに住む人の安全確保があまりにも疎かにされている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	工事そのものはスローペースではあるが、確実に進んでいると思われる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤の工事は進んでいるが、浸水地域(嵩上げ)の宅地等の建設はまだまだなので、災害に強く安全な町かどうかのイメージがまだ湧かない。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	防潮堤の整備が進み目に見えて「安全なまちづくり」が進んでいるように思うが、人の「防災」という意識を定期的に確認することも必要になってくると感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	だいぶん進んでいると思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	目に見えて進んでいると感じる。景観は損なわれたとも同時に感じるが、災害対策としては致し方ないと思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	津波に対しての対策は目に見えて進んでいるかもしれない。しかし、昨年の台風、山津波で大変な被害が発生している。災害は津波のみならず、達成とか完璧ということはないのではないと思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	防潮堤の工事が進んでいる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	防潮堤の整備や復興道路の工事が進んでいる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	39歳以下	男	防潮堤工事が完成し、復興道路も工事が進んでいる。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	70%に進んだ。以前より良好と思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	家の窓から見る景色は、防潮堤によって全く海が見えないものになった。この防潮堤で、ある程度の津波を防ぐことはできるかもしれない。しかし、人的被害をなくするためには、防潮堤に頼るのではなく、早急に高台に逃げるのだと思う。この逃げるということを絶対に忘れてはならない。そのための避難について、地域で話し合っていくことが大事だと思う。海岸沿いに走る現県道に替わる、高台を走る中間道の工事が、まだ始まっていない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	女	防潮堤は工事中。白浜部落でお願いしていた崖工事が進んでいない(津波に対する災害)。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	各種施策は着実に遂行されていると感じている。防潮堤の工事完了等で、達成した印象が持てるのではないと思われる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	大船渡港に沿って、防潮堤工事が着実に進んでいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の整備が進んでいる。一方で台風18号での中心市街地の冠水、土砂の流入の被害も発生。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の整備が遅れている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤、三陸道の工事が進んでいるようだ。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	39歳以下	男	海沿いの国道を車で走ると、震災前よりはるかに高い防潮堤が目立つようになってきた。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	久慈市宇部町、久喜地区及び野田村の防潮堤が完成に近づいている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	女	海の近くは公園になったりしているが、防潮堤はまだ完成してはいない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	嵩上げ工事や防潮堤工事の進捗度合い、浸水した道路の補完策ともなる三陸道の整備進捗を見てやや回復していると感じた。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	女	ハード面の整備が進む一方、住民主体の災害に対する取組に、参加する住民が固定化してきている気がする。時間の経過と風化を感じる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	男	堤防工事は進んでいるが、歩道の通行が早くできるようになるとよい。山田線の復旧は行っているようなので期待したい。三陸道路の一部完成で、地域の渋滞が若干改善された。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	進んでいると思う。かなりの達成率で安全なまちができています。しかし、100%になるまでは安心できない。一刻も早く完成を望む。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	防潮堤もだいぶ目に見えるようになってきている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	防潮堤が出来て、海は見えなくなった。安全であるような、見えなくて怖いような気持ち。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	高台建設が進んできている。防災教育、防災の意識は、高まっていると思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤の整備が確実に進んでいる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	陸前高田の中心市街地や大船渡駅(BRT)周辺の工事が進み、将来の街並みが見えてきた。しかし、まだまだ空き地が多い。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	防潮堤も出来てきており、その中で新しいまちづくりが行われているが、浸水地域にスタジアムや体育館、メモリアルパークなどが造られて、本当にそれでいいのか。吉浜のように一切建設せずにいた方がいいのではないのか。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	市内の嵩上げもずいぶん進み、道路も整備されてきている。防波堤がなかった部分に、防波堤が出来始めた。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	39歳以下	男	道路、防潮堤、嵩上げ、区画整理、商業施設など、新しいまちの完成形が見えてきた。次は、そのまちに最適な避難方策の充実を達成してほしい。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	39歳以下	女	三陸沿岸道路が宮古～山田までつながった。震災などがあっても逃げられる道の確保が少してきたのかなと思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	防潮堤や湾港防波堤の様子から、確実に進んできていると思う。しかし、いつまた起こるか分からない災害に対しては、スピード感がやや足りないように感じる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	高台移転、防潮堤が形になってきた。ただし減少した人口がもどってくる気がしない。防潮堤の威圧感で、まちの表情が変わってしまったこと等は進んだとっていいかどうか迷う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	整備は着実に進んでいる。震災・台風被害の教訓を風化させないように伝えていく必要がある。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	海岸線を歩くと、防潮堤や避難階段が造られている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	勤務地の防潮堤の整備が進んでいる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	防潮堤の工事も目に見えて進んでいる。避難訓練も行われているが、徐々に風化されているように思う。防潮堤の工事も進み、盛土を行い、公園等が造られているが、津波の被害があった場所に、個人の住宅や災害公営住宅が作られている。今後、災害が起きた時に大丈夫なのかと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防波堤が出来ている地域(県管理のところ)と出来ていない地域があり、どちらとも言えない。夜間に津波警報が出された場所がパニックになるのではないかと心配している。誘導標識が不足している。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤、水門の工事の遅れが目立ち、安全安心なまちづくりには、まだ時間を要すると思われる。早期の完成を希望する。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	地震・津波による災害は勿論、水害時の被害の方も頻度が多く、洪水、家屋浸水なども心配である。堤防の早期完成と、住民の防災意識が重なることで、より「安全・安心」「二度と同じ悲劇を起こさない」まちづくりになるように、継続した周知、対策が必要。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	ハード面は着実にゴールに近づいている反面、防災に対する住民の意識の低下があるように思う。避難訓練への参加者数が多くはないこと、防災関連へのイベント等への人出の少なさ等見られるので、意識向上を目的とした事業が必要である。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	あまり進歩は見られない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤の整備は徐々に再建されているが、全て完成されないと安全なまちづくりではないと思う。また大津波が来たなら同じことだと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤はまだ未完成のまま。市街の道路も工事のため複雑になっている。このような状況でまた災害が起きた時に、避難するのが困難な状況と思われる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	進んでいると思うが、達成は出来ていないと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防災に関する整備事業は確実に進んでいるので、このまま進んで行けばいいと思う(次の津波までに間に合えば)。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	高台移転された区域は安心と思う。防潮堤はできていないので不安である。防潮堤が無い今、高上げされた町方地区に津波が来ないことはないと思う。(来ると思う)
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	防潮堤や道路も完成していないので、何かあって避難する時は、混雑しまだまだ安全とは思わない。工事の人々が毎日働く姿を見ているので、進んではいると思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤の完成がまだまだ。交通インフラ(三鉄山田線の開通)がまだ未完成。一日も早い完成を願う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	津波に関すると、防潮堤等の整備も大切だが、個人々への「逃げる」という意識付けがそれを上回ると考える。ハードに多額の投資をするならば、逃げる環境を整える方に重点を置くべきと考える。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の工事は始まったばかり、期間は決まっているようだけれど、遅れていると話している。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の工事は進んでいるが、避難道路の整備が進んでいないように思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	防潮堤の整備は見に行っていないので分からないが、道路整備は進んでいる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	地域住民の高齢化がとても気になる。若い人の仕事が少ない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	沿岸部の堤防等は概ね回復しており、津波による被害への防災面については、ほぼ備えは十分と感じられる。一方、台風10号被害への防災に関しては、徐々に進捗しているものの「道半ば」と思われる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	女	現在進行形だと思うが、どのような形になっていくのか、安全安心を実感できない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	10月に津波を想定した避難訓練を行ったが、参加者が非常に少なかった。時間の経過とともに、防災意識も低下するのだと実感した。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	町内でも、防潮堤の工事が遅れている所もあり。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	沿岸をつなぐ復興道路の整備は順調に進みつつあるが、唯一内陸との連絡道路である国道281号の道路整備にいたっては、災害のたびに損壊・修理を繰り返しており、災害時の支援体制に不安が残る。恒久的な対策は望めないものか。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤の第2線堤に出来た陸間は、衛星の電波による遠隔操作で扉が閉まるとのこと。消防団員のリスクが軽減されたと評価できるが、操作に携わるシステムが分からないので、なんとも言えない部分が残る。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤はまだ完成していないが、工事は徐々に進んでいる。避難方策は、現状考えられていない住居が高台・盛土地に移った為でもあるが、被災時の恐怖が忘れられつつあるように思う。浸水高の表示もあちこちで見かけるが、山田町では現状考えていないようだ。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	新しい道路、迂回路がなければ、常に渋滞するなど逃げ道がないと思う。整備は進んでいるが、完成しなければ達成したとは言えない。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	被災した土地に復興住宅を建設しており、安全性の面ではもちろん、そこに住むことになる被災者の精神面の方も心配になってくる。特に、すぐ海が見える場所は、住んでいるだけでストレスを感じてしまうのでは。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤はまだ完成していない。防潮堤の作業(最後になる部分)が、やっと始まって完成の見込みが出てきた。ハード面は進んでいるけれど、ソフト面が変化しているのに何も変わっていない。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	防潮堤はすぐそこまで工事が進んだが、それから先がストップしている。これからだと感じる。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	工事は遅れてはいないと思うが、道路は順調に見え、防潮堤は進んでいるようには見えない。止まっているようにしか見えない。ソフト面が不足していると思う。行政の自己満足の為の行事が多くあり、住民の意見要望を無視している感がある。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	工事は進められているようだが、まだまだ完成には遠いと感じる。「工事が行われている現状が、安全ではない」と一方で心配している。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の建設・整備の進み具合が、若干遅いように感じる。海岸線がまだ道路と面している所もあり、再び津波が来た際、心配もある。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	工事に時間がかかっている。防潮堤と道路の関係もあると思うが、道路の整備も遅いようだ。
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	39歳以下	男	震災という点を考えれば、防潮堤が完成しなければ、達成とは言えないと思う。
分からない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	東前・平田地区の整備工事は目に見えて進んでいるが、避難経路、対策面は見えてこない。

## 平成30年第1回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

発 行

平成30年2月16日  
岩手県 復興局 復興推進課

〒020-8570  
岩手県盛岡市内丸10-1  
電話 019-629-6945

### 【自由記載集:掲載にあたって】

- ・自由記載(理由)は、表現も含め、原則として原文のまま掲載しています。  
(一部、誤字・脱字等の修正や企業・団体・個人名の置換えなど、表現をあらためています。)